

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	505C	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：505C

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

4 インチ

研磨剤

番

比較対照ボール：Kinetic Black

フレアーの幅 インチ

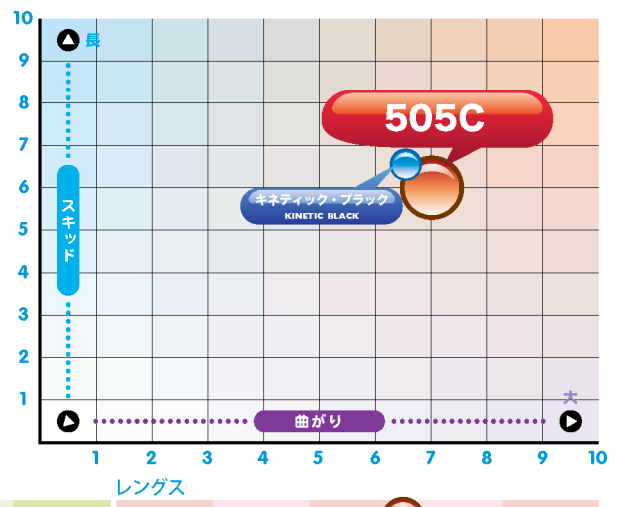
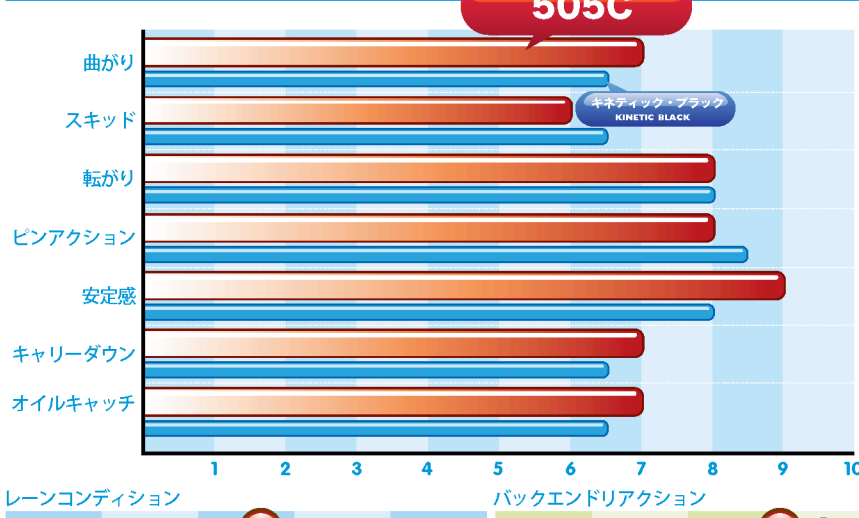
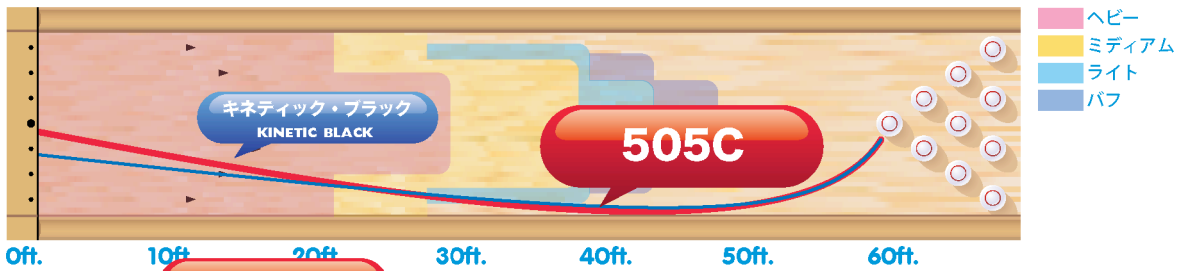
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

4 インチ

研磨剤

番



レーンコンディション

Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション

Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス

Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

皆さんはボールの性能はどのように見分けていますでしょうか？今回トラック社はその数値を数字に表し、その数字をボール名として、一目でその特性が分かるような取り組みを始めました。930T、715A、505Cの3つの開発ナンバーから今回は505Cの発売です。カバーストックの強さは3ケタの数字の頭文字9・7・5でHigh-performance, Upper mid, Midの順に、下二ケタはマスバイアス・ディファレンシャル(マスバイアス差異)を表します。最後尾のT・A・Cは各々、Traction, Angular, Controlの頭文字を表し、ボールそのものもつリアクション特性を表しています。T (Traction) はより曲がり重要視し、A (Angular) は走りバックエンドのシャープさ、C (Control) はコントロール性能を求めています。ですので今回発売される505CはカバーストックがMid、マスバイアス差異が0.005、コントロールの性能と読み取れる訳です。私はテスト段階ですでに930T、715A、505Cの3つのボールを投げ比べましたが、ナンバー表記どおりに3つの中では一番ミディアムコンディション向きでコントロール性能に優れているのを感じることができました。同時に3つのボールが9・7・5とA・C・Tと表記された通りに性能の差を感じられたのにも驚いています。特にこの505Cはミディアムコンディションから以下のコンディションで有効活用ができ、高回転を繰り返すボウラーにとっても武器になる性能であると思います。この505Cはキネティックのシャトルコアを搭載しており、ミッドプライスでありながら価格帯での勝負も仕掛けてきています。9シリーズと7シリーズと組み合わせることにより、あらゆるコンディションへ対応できるようトラック社の新たなる挑戦。まずは先陣を切り、この505Cの性能を確かめるべきでしょう。

特記事項

トラック社が新しい試みでカバーストックの強さ、マスバイアス差異、リアクション特性をそのままボール名としたボール。A・C・TはReactionの中から抜きだされた文字でもあります。